

平成29年 5月12日

各 位

会 社 名 カルナバイオサイエンス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 吉野 公一郎
 (コード番号：4572)
 問合せ先 取締役経営管理本部長 山本 詠美
 (TEL：078-302-7075)

営業外収益および特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、平成29年12月期第1四半期会計期間（平成29年1月1日から平成29年3月31日）において、下記のとおり営業外収益（補助金収入）および特別損失（減損損失、関係会社株式評価損）を計上いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 営業外収益の内容

下記内容の通り、補助金収入2,909千円を、連結、個別それぞれ計上いたします。

研究テーマ	共同研究先	補助金事業の名称	金額
マラリアキナーゼを標的とした新規マラリア治療薬の開発研究	北里大学 北里生命科学研究所	国立研究開発法人日本医療研究開発機構の研究成果最適展開支援プログラム「A-STEP」の一つである「平成25年度第2回【産学共同促進】ハイリスク挑戦タイプ」	2,909千円

2. 特別損失の内容

(1) 固定資産減損損失

当社グループは、固定資産を管理会計上の区分（セグメント別）を基準に、資産のグルーピングを行っています。創薬事業においては、事業の特性上、現段階では、将来の収入の不確実性が高いことから、当該事業に係る資産の帳簿価額の回収可能額についての使用価値をゼロとし、帳簿価額の全額4,467千円を減損損失として連結、個別それぞれ特別損失に計上いたします。

その内容は、研究用の工具、器具及び備品であります。

(2) 関係会社株式評価損

当社の連結子会社（完全子会社）である株式会社ProbeXの株式について、同社の今後の事業の見通し等を検討した上で、実質価額が著しく下落し、その回復する見込みがあると認められないものについて、当社個別決算において減損処理を行い、関係会社株式評価損として33,712千円を特別損失に計上いたします。

3. 平成29年12月期連結業績に与える影響について

1. 営業外収益および2. 特別損失 (1) 固定資産減損損失については、本日公表しました「平成29年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」に反映しております。

2. 特別損失 (2) 関係会社株式評価損は、当社の個別決算においては関係会社株式評価損として特別損失に計上するものの、連結決算上は相殺消去されるため、連結決算に与える影響はありません。

以 上